

西濃農林事務所の普及活動状況（令和7年5月）

今月の重点活動

■新規就農 西濃地域就農支援協議会を設立

5月22日、農林事務所は西濃管内各種団体幹事会において、西濃地域就農支援協議会設立会議を開催し、各市町・JAにしみの・農林事務所を構成員とする西濃地域就農支援協議会が設立された。

西濃地域は、これまで各市町単位に就農支援協議会が設置され、新規就農者のフォローアップがされてきたが、就農希望者や指導者が市町を越えることも多く、単独市町では活動しにくい現状があった。当協議会は広域に活動を展開し、就農支援を行うものである。

今後は、各地域の就農支援チームを中心に、研修品目及びあすなろ農業塾長の選定ができるよう、産地に対し支援を行っていく。



【設立会議の様子】

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■柿 小学生の摘らい体験を支援

5月13日、海津市立城山小学校5年生の「総合的な学習の時間」にて、柿の摘らい体験が行われた。農林事務所からは、柿の摘らいの目的、方法について説明するとともに、摘らいの実演を行った。

同小学校では、摘らいの他、7月に摘果、11月に収穫、2月に粗皮削りの体験が予定されている。これらの体験を通じ、柿の消費拡大や、将来の柿の担い手が生まれることを期待したい。



【摘らい体験の様子】

安心して身近な「ぎふの食」づくり

■小麦 良好な生育状況

5月7日、農林事務所は大垣区域の小麦赤かび病の発生調査をJAにしみのTACと実施した。

7ほ場中1ほ場で発病穂が確認されたが、1%未満と昨年と比べて少ない発生量だった。また、R7年産小麦は冬期の降水量が少なかったことから湿害がほとんどなく、茎数も多く、これまでの生育は良好である。

しかし、5月中旬以降は降雨が多く、赤かび病の発生が懸念される。また、ハツシモの田植とともに用水からほ場への漏水による湿害も懸念される。今後は適期収穫に向けた支援を行う。



【生育状況の様子】

■大豆 栽培研修会の開催

5月19日、海津市営農協議会主催による大豆栽培研修会が開催された。農林事務所からは、近年の大豆生産の状況や基本的な栽培管理を説明した。

梅雨明け後には播種作業が本格化し、令和7年産大豆生産がスタートを切る。外来雑草の侵入や、湿害による生育不良等、生育不安定要因が様々あるため、農林事務所は、大豆生育期間中に定期的な巡回指導を行い、安定生産を支援する。



【栽培研修会の様子】

■有機水菜 有機農業推進プロジェクトチーム会議の開催

農林事務所は5月8日、JAにしみの神戸集出荷センターにおいて、西濃地区有機農業推進プロジェクトチームの第1回会議を開催した。営農モデル実証ほ生産者・JAにしみの・神戸町・県農産園芸課が出席し、今年度の取り組みについて話し合った。

プロジェクト4年目となる今年度は、有機で使える農薬を検討すること、生産者の増加・面積拡大・他品目への普及を目標とし、興味のある若い生産者の勧誘に努めること、県主催の「ぎふオーガニックマルシェ」に参加することが計画として挙げられた。

農林事務所では引き続き有機農業の推進を支援していく。



【水菜栽培ハウス】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■加工業務用タマネギ 関係機関と生育状況を確認

5月9日、西濃管内の収穫直前のタマネギの状況を確認するため、JAにしみのTAC室及び全農岐阜営農対策課の担当とほ場巡回した。

病害虫（べと病、アザミウマ類）は少なく、品質・収量ともに前年を上回る見込みである。

農林事務所では、本年度の栽培結果を踏まえ、栽培マニュアルを修正し、9月からの次年度産のタマネギ栽培の支援に備える。



【ほ場巡回の様子】

■冬春トマト 栽培研究会の開催

海津トマト部会は、5月16日、JAにしみの海津中支店で栽培研究会を開催した。

農林事務所からは、現在の生育状況の報告を行うとともに、令和6年産で実施した品種試験や防除試験について説明を行った。また、業者からはコナジラミ類対策に係る薬剤防除体系、2月に開催された視察研修の報告などもあり、充実した研修会となった。

農林事務所では、引き続き栽培技術等の指導を通してトマト産地の活動を支援する。



【栽培研究会の様子】

地域資源を活かした農村づくり

■花き 神戸町バラづくりコンクールの開催

5月14日、神戸町が主催する「神戸町バラづくりコンクール」が開催され、審査委員長として出席した。

神戸町の切バラ生産者4名を含む審査員6名で、神戸町に点在するバラ花壇10か所の審査を行った。①維持管理、②デザイン、③環境との調和の3項目で審査を行った結果、集落の部では下宮区緑のスポーツ公園、公共施設の部では南平野小学校の花壇が最優秀となった。

本コンクールは36年の歴史があり、西濃農林事務所としても地域の取組みによるバラ振興が進展するよう、栽培管理等の支援を行っていく。



【審査の様子】